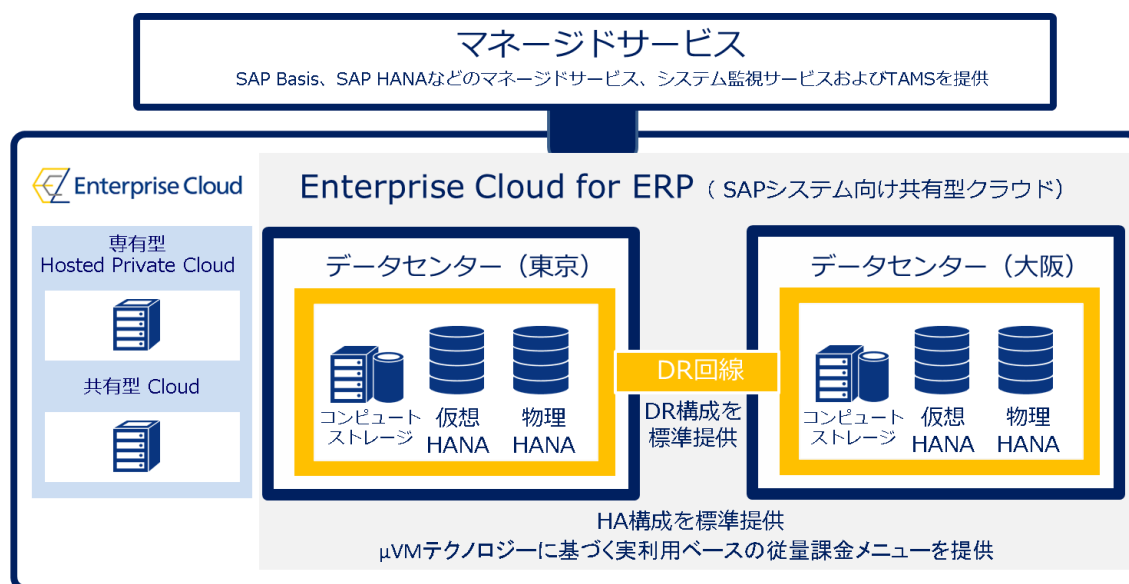


2017年9月27日

SAP システム向けクラウド基盤 「Enterprise Cloud for ERP」の提供開始について ～トータルソリューションとしてグローバルに展開～

NTT コミュニケーションズ株式会社(本社：東京都千代田区、代表取締役社長：庄司 哲也、以下 NTT Com)は、デル テクノロジーズグループの Virtustream, Inc.(以下 Virtustream) および EMC ジャパン株式会社(以下 EMC ジャパン)との開発・販売協業に基づき、SAP システム向け共有型クラウド基盤サービス「Enterprise Cloud for ERP」を2017年9月27日より提供開始します。

SAP システム向けにパッケージ化したクラウド基盤をマネージドサービスとあわせて日本、米州、欧州、豪州にて提供します。これにより、お客さまは、SAP システム向けのミッションクリティカルなシステムをクラウド上でトータルかつグローバルにご利用できます。



(全体イメージ図)

1. 「Enterprise Cloud for ERP」の特長

(1) SAP システム向けクラウド基盤の提供

インメモリデータベース^{※1}である SAP HANA に対応したクラウド基盤として、仮想 HANA (最大 2.9TB) メニューと物理 HANA (最大 8.0TB) メニューを提供します。また、SAP システムに求められる高可用性を実現するために、同一データセンター内での High Availability (HA) 構成、および東京・大阪間での Disaster Recovery (DR) 構成を組み込んだ標準メニューを提供します。さらに、SAP システムのリソース消費特性に対応した、μVM テクノロジー^{※2}に基づ

く実利用ベースの従量課金メニューを提供します。

これにより、お客さまは、SAP システムの利用用途および可用性設計に応じて、仮想/物理 HANA を組み合わせて、高信頼のクラウド環境を柔軟かつ迅速に構築できます。また、μVM テクノロジーのリソース最適化により、オンプレミスシステムと比べて、TCO^{※3} を最大 65%削減できます。

(2) マネージドサービスを組み合わせた提供

SAP システム向けクラウド基盤に加えて、SAP Basis や SAP HANA などのマネージドサービス、システム監視サービスおよび TAMS (Technical Account Manager Services) を提供します。TAMS では、ITIL^{※4} に基づくシステムの運用支援、運用状況分析、ならびにベストプラクティスに基づくアドバイスサービスを提供します。

これにより、NTT Com がこれまでに蓄積した運用ノウハウをもとに提供する豊富なメニューから、お客さまは最適なマネージドサービスを選択することで基盤運用業務を効率化でき、業務プロセス設計ならびにアプリケーション開発に専念することができます。

(3) 米州、欧州、豪州のグローバル拠点で提供

日本拠点に加えて米州、欧州、豪州の拠点において、Enterprise Cloud for ERP およびマネージドサービスを提供します。お客さまは、各拠点において、SAP システム向けのマネージドサービスとクラウド環境をトータルにご利用できます。

2.提供開始日

2017 年 9 月 27 日

3.今後の展開について

Virtustream および EMC ジャパンとの協業に基づき、「Enterprise Cloud for ERP」のさらなるサービス機能拡充、拠点拡大を推進します。また、「SD-Exchange」によるクラウド基盤接続や、「Cloud Management Platform」(CMP)による複数クラウド基盤の一元運用管理などを行います。

4.エンドースメント

EMC ジャパン株式会社 代表取締役社長 大塚 俊彦様

このたびの NTT Com の「Enterprise Cloud for ERP」サービスの発表を心より歓迎いたします。今年 2 月、NTT Com、Virtustream および Dell EMC (EMC ジャパン) の 3 社にて、戦略的協業を発表して以来、基幹システム向け共有型クラウド基盤サービスの開発を順調に進めてまいりました。

本サービスでインフラ基盤として採用された HANA 対応の Dell EMC コンバインドインフラは、H/W 構成のみならず、ファームウェアの組み合わせも長時間の事前検証を経て初めて実環境に反映させ、極めて高い可用性と信頼性を担保し、ミッションクリティカルなワークロードをささえます。3 社のソリューションを組み合わせることでお客様にとって最適な基幹システム向けのクラウド基盤サービスが提供されることとなります。

また、3 社は日本での事業展開とともにグローバルな協業体制も一層強化し、今後も国内外ともに大規模 SAP システムなど、ミッションクリティカルな基幹システム向け共有型

クラウド基盤サービスの開発・販売に関する協業を進めて参ります。

Virtustream Inc COO サイモン ウォルシュ様

NTT Com は、市場で数々の実績のある Virtustream のクラウドプラットフォームとサービスのパートナーとして、デジタルトランスフォーメーションで成功を目指すお客さまにさらなる選択肢を提供してきます。これにより、現行のシステムから最適なクラウド基盤への移行をサポートし、高信頼のクラウド体験をお客さまに提供できることを大変嬉しく思います。

- ※1 インメモリデータベースは、すべてのデータをメモリ上で処理するコンピューティング技術。ハードディスクを利用したデータベースと比べて、数千倍から数十万倍のパフォーマンスを発揮できます。
- ※2 μ VM テクノロジーは、CPU/Memory などの実利用量で課金する Virtustream 社の特許技術です。
- ※3 TCO (Total Cost of Ownership 総保有コスト) とは、機器やソフトウェア、システムなどの入手、導入から使用終了、廃棄に至るまでにかかる費用の総額のことです。
- ※4 Information Technology Infrastructure Library の略。ICT サービスの運用・管理におけるベストプラクティス、ノウハウをまとめた書籍群。英国規格である BS 15000 のベースとなっており、業界標準として認知されています。